

議 第 3 号

胎内市地域公共交通計画の改訂について

胎内市地域公共交通計画の改訂について、本協議会の承認を求める。

記

胎内市地域公共交通計画の改訂について

令和6年6月28日 提出
胎内市地域公共交通協議会
会長 高橋 晃

計画改訂箇所抜粋

イルス感染への警戒感から利用控えが進み、令和3年度には46,620人まで減少しています。

- JR羽越本線と接続する支線として、市内のみならず新発田市の金塚駅周辺及び村上市の坂町駅周辺の広域を運行エリアとしています。
- 市内のスーパー、病院、公共施設など、主に買物や通院の身近な移動手段として幅広く利用されていますが、近年の新型コロナウイルスの影響による利用者数及び利用料金の減少により、市からの負担金だけでは維持が難しい状況であり、地域公共交通確保維持事業補助金（フィーダー補助）の活用により持続可能な運営を確保する必要があります。

(3) スクールバス等

- 小学生は通年で、中学生は冬期間（11月下旬から3月末まで）のみスクールバスで通学しています。
- 保育園・こども園では通年で通園バスが運行されています。ルートは利用者の所在により変更されるので一定ではありません。
- 開志国際高等学校では生徒の通学のために中条駅と学校の間でスクールバスを運行しています。
- 新潟食料農業大学では中条駅から胎内キャンパス、胎内キャンパスから新潟キャンパス（新潟市北区）でスクールバスを運行しています。

(4) タクシー

- 市内では民間タクシー会社2社が営業しており、その2社で構成される胎内市ハイヤー・タクシー協会が「のれんす号」の運行を受託しています。
- 市民アンケート結果から77.4%の人がタクシーをほとんど利用しない、利用したことがないと回答しています。

(5) 福祉有償運送

- 介護要支援認定者等で一人での移動が困難な方の移動手段として、特定非営利活動法人ふるさと奥山の荘が福祉有償運送の運営主体となっています。
- 福祉有償運送はドア to ドアの運行で3人までの乗合が可能であり、料金はタクシー実車運賃の額の概ね1/2の範囲内としています。

(6) 「くるっと胎内」

- 「くるっと胎内」はJR羽越本線の中条駅、平木田駅と市内の観光地を無料で運行しています。
- 駅から観光スポット等へのアクセス強化により、鉄道利用者の観光需要を取り込み、地域の活性化を図っています。

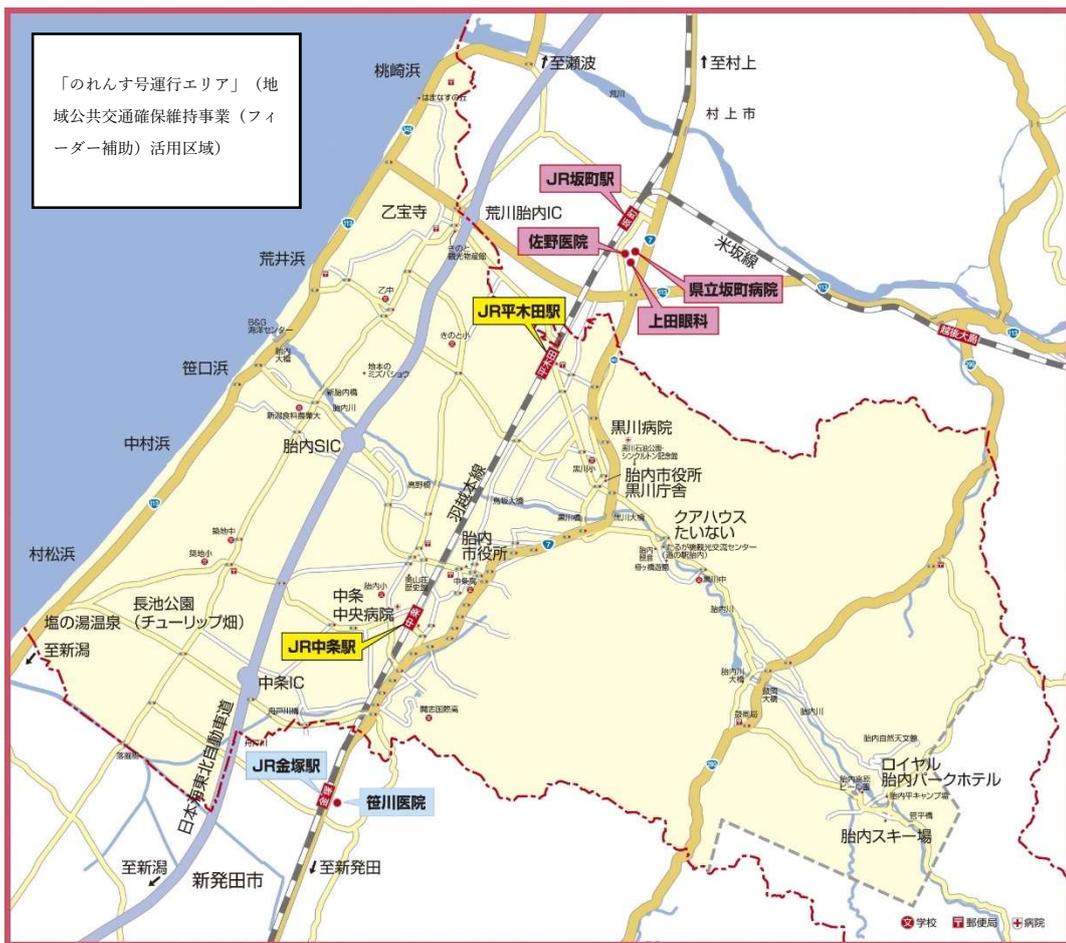
胎内市の交通機関の位置付け・役割

位置付け	役割	交通機関	該当する路線・運行エリア
広域幹線	行政区域を越えた広域的な	鉄道	JR 羽越本線

計画改訂箇所抜粋

	移動、交流、連携を支える路線		
支線	市内各地域を運行し、広域幹線や地域拠点と接続	「のれんす号」	<u>奥胎内エリアを除く胎内市全域（地域内フィーダー系統）</u> <u>中条築地エリア（地域内フィーダー系統）</u> <u>乙エリア（地域内フィーダー系統）</u> <u>黒川エリア（地域内フィーダー系統）</u>
その他	きめ細かい需要や、支線が運行していない時間帯の需要に対するサービス	スクールバス等	小中学校校区 各保育園入園者所在地域 中条駅送迎ほか
		タクシー	胎内市全域
		福祉有償運送	胎内市全域
		くるっと胎内	中条駅、平木田駅及び主要な観光施設

胎内市の公共交通



計画改訂箇所抜粋

「のれんす号」の事業及び実施主体の概要

運行系統名	事業許可区分	運行態様	実施主体	補助事業の活用
<u>奥胎内エリアを 除く市内エリア</u>	4条乗合	区域運行	胎内市ハイヤー・ タクシー協会	フィーダー補助
中条築地エリア				
乙エリア				
黒川エリア				

5-3 地域公共交通に係る財政負担

スクールバスを除く地域公共交通に係る市の財政負担は、平成20年度(2008年度)の82,684千円をピークに路線バスの廃止に伴う運行費補助金の減額により平成24年度(2012年度)には35,098千円まで減少しましたが、「のれんす号」の利便性向上に伴う運行委託費の上昇や国庫補助上限額の減額に伴い、市の財政負担は年々増加している状況です。

また、スクールバスについても貸切バスの料金制度改定により財政負担が増加傾向にあったため、平成28年度(2016年度)からは、一部の区間を市が所有するマイクロバスの運転委託に切り替えることにより経費の削減を行っていますが、財政負担は依然として高い水準にあります。

そのため、平成30年度(2018年度)の地域公共交通全体に係る市の財政負担の総額は144,986千円に上っています。直近の令和3年度(2021年度)についても166,590千円と増加傾向にあります。

